

課題の解決に向け、仲間とともに主体的・対話的に深く学ぶ児童（知育）

自分の大切さともに相手を大切に思う豊かな心を持った児童（徳育）

自ら心身の健康保持増進に努める資質・能力を持った児童（体育）

○児童、保護者、教職員の評価は「そう思う」「どちらかと言えば、そう思う」という肯定的な回答の合計を%で示しています。色が付いているのは5%以上の上昇または下降となった評価です。

○学校運営協議会委員の評価は4段階の平均です。

領域	No.	児童への質問	評価	保護者への質問	評価	教職員への質問	評価	教職員の考察・対策	学校運営協議会委員のコメント	評価
確かな学力（知育）	1	わたしは、授業中「ゲー、ペタ、ピン」ができています。	前期	お子さんは、家庭学習の際、「ゲー、ペタ、ピン」ができていますか。	前期	児童は、授業中「ゲー、ペタ、ピン」ができていますか。	前期	①No.1は保護者、教職員の評価が低く、例年の課題である。授業前の黙想の時間で良い姿勢を体感させる。また、書くときにも肯定的な言葉かけやスタンプなどでできている子をほめていく。 ②No.2について、「ゲー、ペタ、ピン」と「めあてをもって参加」に相関関係が見られる。どのクラスでも、めあてをもって授業をしているが、参加意欲に課題がある。そこで、全員参加の意識が高まるよう学習形態の工夫を行っていく。 ③No.4について、今年度は朝読書の時間や「必読書コーナー」「必読書カード」などを設けたことで、一人当たりの貸出数が15.7冊増えた。学校では読書の時間を設けているが、家庭での読書が少ないことが保護者の評価に表れている。例えば月曜日を「本を持って帰る日」とし、朝読書の時間で読み切れなかった分を家庭で読むようにするとよいのではないか。保護者自身も本に触れなくなって図書館などに行く機会が減っているのではないかと。学校でできる取組として、金曜日の朝活動のローテーションに読書の時間に入れるなどとして、まずは校内での読書機会の増加を目指す。	①No.1について、授業参観、丸付け、読み聞かせなどで子供たちの様子を見たが、とても姿勢がよく、積極的な学習ぶりだった。 ②No.2について、授業参観では子供たちが目標をもって前向きに学習している様子であった。 ③No.4について、児童館でも本の貸し出しをしている。借りている子供もいる。このことを発信していきたい。 ④No.4について、学校では必読書カードを設けたり朝読書の時間を取ったりして知育向上につながっていると思う。家庭における親子読書をさらにすすめるとよい。	3.5
			後期		後期		後期			
	2	わたしは、めあてをもって進んで授業に参加している。	前期	お子さんは、宿題や学習用具を忘れずに登校していますか。	前期	学校は授業や学校行事の中で児童が主体となる場面を設けていますか。	前期	①No.5について、学級園の草、校舎内外のゴミがそのまま放置されている現状がある。進んで善い行いをしている児童を紹介し、全校に広げていく。 ②No.6で、右側通行を意識する児童が増えた。時と場所を考えて、無言で通ることを意識させたい。今年度の数値は他の項目に比べると低いが、委員会活動や上級生が廊下歩行を呼び掛けたり、チェックをしたりしたことで以前よりは改善してきている。 ③No.7についてはタマにやんチェック、心のアンケート、帰りの会などでの訴えなど、自分の気持ちを知らせ、共感させる場を今後も有効に活用していきたい。また、自分の気持ちや考えをなかなか言えずに悩んでいる児童への対応も考えていく必要がある。 ④No.8について、子どもどうしが仲が良いことが一番である。何でも話せる仲間づくりに取り組んでいく。その他にも言葉遣いは、学校の課題である。時と場所を考え、礼儀正しい態度の育成を目指していく。	①No.5について、日本では少子高齢化と人口減少が身近に感じられる時代だが、世界の人口は80億人を超えてきた。資源や食料の無駄遣いは許されない。自然環境との調和がより求められていることを自覚する教育が大事。 ②No.7について、下校時につまづいて倒れた子供に数人が駆け寄り寄り添って優しい言葉かけをしているところを見かけた。 ③No.7について、子供どうしが交流をもつことが一番だと思うので、帰りの会などで自分の気持ちを話せる場があることはとてもよいことだと思う。思っていることも言えたいと思うので、みんなでも対策を考える場にもなると思う。 ④No.8について、前期よりも後期の数値がかなり上がっている。学校全体で取り組まれた結果であると思う。	
			後期		後期		後期			
3	わたしは、自分で計画して家庭学習に取り組んでいる。	前期	お子さんは、家庭学習の習慣が身に付いていますか。	前期	学校は児童に対して家庭学習の仕方について具体的に指導していますか。	前期	①No.9で保護者の認識に低下が見られる。メディアコントロールの取組と同時に規則正しい生活ができるようにしていきたい。 ②No.10は保護者、児童の評価が低い水準となっている。メディアコントロール週間の取組を含め、時間の使い方も指導していく必要がある。伊倉っ子シンポジウムなどを活用し、児童、保護者、地域、教職員が一体となり取り組む必要がある。 ③No.11について、教職員の評価に低下がみられる。登下校中の危険箇所を撮影し、視覚的に確認するなどして危険予測能力を高めた。 ④No.12については児童、保護者ともに高い水準で意識できている。保護者の評価も後期に8ポイント上昇している。	①No.9.10について、夜遅くまでゲーム等をしていると、朝起きができなくなる。朝ご飯を食べるなど規則正しい生活ができるよう親子で話し合ってもらいたい。 ②No.10について、伊倉っ子シンポジウムで視力を低下させないための具体的な数値を示されたことで児童にもよく伝わったと思う。SNSとの付き合い方は注意が必要だと親子で実感している。 ③No.10について、体力の低下にはメディアが大きく関係していると思う。まずはそこからの対策をとることからシンポジウムの開催で親子で考える場を作られたことにより、よい方向に進んでいくと思う。 ④No.11について、登校時は問題ない班が多いが、下校時には幅広く広がっているところも見かける。 ⑤No.12について、子供たちはあいさつがよくできています。地域の方から声をかけたら（あいさつしたら）必ず返してくれます。		
		後期		後期		後期				
4	わたしは、月に10冊(低学年)、5冊(中学年)、1冊(高学年)以上の本を読んでいる。	前期	お子さんは、月に10冊(低学年)、5冊(中学年)、1冊(高学年)以上の本を読んでいますか。(兄弟姉妹がいる場合、長子のお子さんで判断してください。)	前期	学校は児童に読書の楽しさと有用感を実感させるような取組を行っていますか。	前期	①No.9について、学級園の草、校舎内外のゴミがそのまま放置されている現状がある。進んで善い行いをしている児童を紹介し、全校に広げていく。 ②No.6で、右側通行を意識する児童が増えた。時と場所を考えて、無言で通ることを意識させたい。今年度の数値は他の項目に比べると低いが、委員会活動や上級生が廊下歩行を呼び掛けたり、チェックをしたりしたことで以前よりは改善してきている。 ③No.7についてはタマにやんチェック、心のアンケート、帰りの会などでの訴えなど、自分の気持ちを知らせ、共感させる場を今後も有効に活用していきたい。また、自分の気持ちや考えをなかなか言えずに悩んでいる児童への対応も考えていく必要がある。 ④No.8について、子どもどうしが仲が良いことが一番である。何でも話せる仲間づくりに取り組んでいく。その他にも言葉遣いは、学校の課題である。時と場所を考え、礼儀正しい態度の育成を目指していく。	①No.9.10について、夜遅くまでゲーム等をしていると、朝起きができなくなる。朝ご飯を食べるなど規則正しい生活ができるよう親子で話し合ってもらいたい。 ②No.10について、伊倉っ子シンポジウムで視力を低下させないための具体的な数値を示されたことで児童にもよく伝わったと思う。SNSとの付き合い方は注意が必要だと親子で実感している。 ③No.10について、体力の低下にはメディアが大きく関係していると思う。まずはそこからの対策をとることからシンポジウムの開催で親子で考える場を作られたことにより、よい方向に進んでいくと思う。 ④No.11について、登校時は問題ない班が多いが、下校時には幅広く広がっているところも見かける。 ⑤No.12について、子供たちはあいさつがよくできています。地域の方から声をかけたら（あいさつしたら）必ず返してくれます。		
		後期		後期		後期				
豊かな心（徳育）	5	わたしは、無言掃除を時間いっぱいいっしょうけんめいしている。	前期	学校は、花壇や掲示物などの教育環境を整えていますか。	前期	学校は、花壇や掲示物などの教育環境を整えていますか。	前期	①No.9について、学級園の草、校舎内外のゴミがそのまま放置されている現状がある。進んで善い行いをしている児童を紹介し、全校に広げていく。 ②No.6で、右側通行を意識する児童が増えた。時と場所を考えて、無言で通ることを意識させたい。今年度の数値は他の項目に比べると低いが、委員会活動や上級生が廊下歩行を呼び掛けたり、チェックをしたりしたことで以前よりは改善してきている。 ③No.7についてはタマにやんチェック、心のアンケート、帰りの会などでの訴えなど、自分の気持ちを知らせ、共感させる場を今後も有効に活用していきたい。また、自分の気持ちや考えをなかなか言えずに悩んでいる児童への対応も考えていく必要がある。 ④No.8について、子どもどうしが仲が良いことが一番である。何でも話せる仲間づくりに取り組んでいく。その他にも言葉遣いは、学校の課題である。時と場所を考え、礼儀正しい態度の育成を目指していく。	①No.5について、日本では少子高齢化と人口減少が身近に感じられる時代だが、世界の人口は80億人を超えてきた。資源や食料の無駄遣いは許されない。自然環境との調和がより求められていることを自覚する教育が大事。 ②No.7について、下校時につまづいて倒れた子供に数人が駆け寄り寄り添って優しい言葉かけをしているところを見かけた。 ③No.7について、子供どうしが交流をもつことが一番だと思うので、帰りの会などで自分の気持ちを話せる場があることはとてもよいことだと思う。思っていることも言えたいと思うので、みんなでも対策を考える場にもなると思う。 ④No.8について、前期よりも後期の数値がかなり上がっている。学校全体で取り組まれた結果であると思う。	
			後期		後期		後期			
	6	わたしは、学校のろうかを走らず、右側を歩いている。	前期	学校は、花壇や掲示物などの教育環境を整えていますか。	前期	児童は、学校の廊下を走らず、右側を歩いていますか。	前期	①No.9について、学級園の草、校舎内外のゴミがそのまま放置されている現状がある。進んで善い行いをしている児童を紹介し、全校に広げていく。 ②No.6で、右側通行を意識する児童が増えた。時と場所を考えて、無言で通ることを意識させたい。今年度の数値は他の項目に比べると低いが、委員会活動や上級生が廊下歩行を呼び掛けたり、チェックをしたりしたことで以前よりは改善してきている。 ③No.7についてはタマにやんチェック、心のアンケート、帰りの会などでの訴えなど、自分の気持ちを知らせ、共感させる場を今後も有効に活用していきたい。また、自分の気持ちや考えをなかなか言えずに悩んでいる児童への対応も考えていく必要がある。 ④No.8について、子どもどうしが仲が良いことが一番である。何でも話せる仲間づくりに取り組んでいく。その他にも言葉遣いは、学校の課題である。時と場所を考え、礼儀正しい態度の育成を目指していく。	①No.5について、日本では少子高齢化と人口減少が身近に感じられる時代だが、世界の人口は80億人を超えてきた。資源や食料の無駄遣いは許されない。自然環境との調和がより求められていることを自覚する教育が大事。 ②No.7について、下校時につまづいて倒れた子供に数人が駆け寄り寄り添って優しい言葉かけをしているところを見かけた。 ③No.7について、子供どうしが交流をもつことが一番だと思うので、帰りの会などで自分の気持ちを話せる場があることはとてもよいことだと思う。思っていることも言えたいと思うので、みんなでも対策を考える場にもなると思う。 ④No.8について、前期よりも後期の数値がかなり上がっている。学校全体で取り組まれた結果であると思う。	
			後期		後期		後期			
7	わたしは、いじめや差別をせず、人にやさしくしている。	前期	お子さんは、いじめをしないなど他の人のへの思いやりの心が育ってきていますか。	前期	学校は、いじめの未然防止や早期発見及び適切な対応に努めていますか。	前期	①No.9について、学級園の草、校舎内外のゴミがそのまま放置されている現状がある。進んで善い行いをしている児童を紹介し、全校に広げていく。 ②No.6で、右側通行を意識する児童が増えた。時と場所を考えて、無言で通ることを意識させたい。今年度の数値は他の項目に比べると低いが、委員会活動や上級生が廊下歩行を呼び掛けたり、チェックをしたりしたことで以前よりは改善してきている。 ③No.7についてはタマにやんチェック、心のアンケート、帰りの会などでの訴えなど、自分の気持ちを知らせ、共感させる場を今後も有効に活用していきたい。また、自分の気持ちや考えをなかなか言えずに悩んでいる児童への対応も考えていく必要がある。 ④No.8について、子どもどうしが仲が良いことが一番である。何でも話せる仲間づくりに取り組んでいく。その他にも言葉遣いは、学校の課題である。時と場所を考え、礼儀正しい態度の育成を目指していく。	①No.5について、日本では少子高齢化と人口減少が身近に感じられる時代だが、世界の人口は80億人を超えてきた。資源や食料の無駄遣いは許されない。自然環境との調和がより求められていることを自覚する教育が大事。 ②No.7について、下校時につまづいて倒れた子供に数人が駆け寄り寄り添って優しい言葉かけをしているところを見かけた。 ③No.7について、子供どうしが交流をもつことが一番だと思うので、帰りの会などで自分の気持ちを話せる場があることはとてもよいことだと思う。思っていることも言えたいと思うので、みんなでも対策を考える場にもなると思う。 ④No.8について、前期よりも後期の数値がかなり上がっている。学校全体で取り組まれた結果であると思う。		
		後期		後期		後期				
8	わたしは、学級や学校が楽しい。	前期	お子さんは、学級や学校が楽しいと思っていますか。	前期	児童は、学級や学校が楽しいと思っていますか。	前期	①No.9について、学級園の草、校舎内外のゴミがそのまま放置されている現状がある。進んで善い行いをしている児童を紹介し、全校に広げていく。 ②No.6で、右側通行を意識する児童が増えた。時と場所を考えて、無言で通ることを意識させたい。今年度の数値は他の項目に比べると低いが、委員会活動や上級生が廊下歩行を呼び掛けたり、チェックをしたりしたことで以前よりは改善してきている。 ③No.7についてはタマにやんチェック、心のアンケート、帰りの会などでの訴えなど、自分の気持ちを知らせ、共感させる場を今後も有効に活用していきたい。また、自分の気持ちや考えをなかなか言えずに悩んでいる児童への対応も考えていく必要がある。 ④No.8について、子どもどうしが仲が良いことが一番である。何でも話せる仲間づくりに取り組んでいく。その他にも言葉遣いは、学校の課題である。時と場所を考え、礼儀正しい態度の育成を目指していく。	①No.5について、日本では少子高齢化と人口減少が身近に感じられる時代だが、世界の人口は80億人を超えてきた。資源や食料の無駄遣いは許されない。自然環境との調和がより求められていることを自覚する教育が大事。 ②No.7について、下校時につまづいて倒れた子供に数人が駆け寄り寄り添って優しい言葉かけをしているところを見かけた。 ③No.7について、子供どうしが交流をもつことが一番だと思うので、帰りの会などで自分の気持ちを話せる場があることはとてもよいことだと思う。思っていることも言えたいと思うので、みんなでも対策を考える場にもなると思う。 ④No.8について、前期よりも後期の数値がかなり上がっている。学校全体で取り組まれた結果であると思う。		
		後期		後期		後期				
健やかな体（体育）	9	わたしは、早寝、早起き、朝ご飯など、規則正しい生活ができています。	前期	お子さんは、早寝、早起き、朝ご飯など、規則正しい生活ができていますか。	前期	学校は、早寝、早起き、朝ご飯など、規則正しい生活ができるよう保護者への協力を働き掛けていますか。	前期	①No.9について、学級園の草、校舎内外のゴミがそのまま放置されている現状がある。進んで善い行いをしている児童を紹介し、全校に広げていく。 ②No.6で、右側通行を意識する児童が増えた。時と場所を考えて、無言で通ることを意識させたい。今年度の数値は他の項目に比べると低いが、委員会活動や上級生が廊下歩行を呼び掛けたり、チェックをしたりしたことで以前よりは改善してきている。 ③No.7についてはタマにやんチェック、心のアンケート、帰りの会などでの訴えなど、自分の気持ちを知らせ、共感させる場を今後も有効に活用していきたい。また、自分の気持ちや考えをなかなか言えずに悩んでいる児童への対応も考えていく必要がある。 ④No.8について、子どもどうしが仲が良いことが一番である。何でも話せる仲間づくりに取り組んでいく。その他にも言葉遣いは、学校の課題である。時と場所を考え、礼儀正しい態度の育成を目指していく。	①No.9.10について、夜遅くまでゲーム等をしていると、朝起きができなくなる。朝ご飯を食べるなど規則正しい生活ができるよう親子で話し合ってもらいたい。 ②No.10について、伊倉っ子シンポジウムで視力を低下させないための具体的な数値を示されたことで児童にもよく伝わったと思う。SNSとの付き合い方は注意が必要だと親子で実感している。 ③No.10について、体力の低下にはメディアが大きく関係していると思う。まずはそこからの対策をとることからシンポジウムの開催で親子で考える場を作られたことにより、よい方向に進んでいくと思う。 ④No.11について、登校時は問題ない班が多いが、下校時には幅広く広がっているところも見かける。 ⑤No.12について、子供たちはあいさつがよくできています。地域の方から声をかけたら（あいさつしたら）必ず返してくれます。	
			後期		後期		後期			
	10	わたしは、テレビやゲーム、スマホなど、メディアの時間を決めて使っている。	前期	お子さんは、テレビやゲーム、スマホなど、メディアの時間を決めて使っていますか。	前期	学校は、テレビやゲーム、スマホなど、メディアの時間を決めて使えるよう保護者への協力を働き掛けていますか。	前期	①No.9について、学級園の草、校舎内外のゴミがそのまま放置されている現状がある。進んで善い行いをしている児童を紹介し、全校に広げていく。 ②No.6で、右側通行を意識する児童が増えた。時と場所を考えて、無言で通ることを意識させたい。今年度の数値は他の項目に比べると低いが、委員会活動や上級生が廊下歩行を呼び掛けたり、チェックをしたりしたことで以前よりは改善してきている。 ③No.7についてはタマにやんチェック、心のアンケート、帰りの会などでの訴えなど、自分の気持ちを知らせ、共感させる場を今後も有効に活用していきたい。また、自分の気持ちや考えをなかなか言えずに悩んでいる児童への対応も考えていく必要がある。 ④No.8について、子どもどうしが仲が良いことが一番である。何でも話せる仲間づくりに取り組んでいく。その他にも言葉遣いは、学校の課題である。時と場所を考え、礼儀正しい態度の育成を目指していく。	①No.9.10について、夜遅くまでゲーム等をしていると、朝起きができなくなる。朝ご飯を食べるなど規則正しい生活ができるよう親子で話し合ってもらいたい。 ②No.10について、伊倉っ子シンポジウムで視力を低下させないための具体的な数値を示されたことで児童にもよく伝わったと思う。SNSとの付き合い方は注意が必要だと親子で実感している。 ③No.10について、体力の低下にはメディアが大きく関係していると思う。まずはそこからの対策をとることからシンポジウムの開催で親子で考える場を作られたことにより、よい方向に進んでいくと思う。 ④No.11について、登校時は問題ない班が多いが、下校時には幅広く広がっているところも見かける。 ⑤No.12について、子供たちはあいさつがよくできています。地域の方から声をかけたら（あいさつしたら）必ず返してくれます。	
			後期		後期		後期			
11	わたしは、歩いて安全に登下校できている。	前期	お子さんは、歩いて安全に登下校できていますか。	前期	学校は、児童が自ら危険予測能力を持って安全に登下校できるよう指導していますか。	前期	①No.9について、学級園の草、校舎内外のゴミがそのまま放置されている現状がある。進んで善い行いをしている児童を紹介し、全校に広げていく。 ②No.6で、右側通行を意識する児童が増えた。時と場所を考えて、無言で通ることを意識させたい。今年度の数値は他の項目に比べると低いが、委員会活動や上級生が廊下歩行を呼び掛けたり、チェックをしたりしたことで以前よりは改善してきている。 ③No.7についてはタマにやんチェック、心のアンケート、帰りの会などでの訴えなど、自分の気持ちを知らせ、共感させる場を今後も有効に活用していきたい。また、自分の気持ちや考えをなかなか言えずに悩んでいる児童への対応も考えていく必要がある。 ④No.8について、子どもどうしが仲が良いことが一番である。何でも話せる仲間づくりに取り組んでいく。その他にも言葉遣いは、学校の課題である。時と場所を考え、礼儀正しい態度の育成を目指していく。	①No.9.10について、夜遅くまでゲーム等をしていると、朝起きができなくなる。朝ご飯を食べるなど規則正しい生活ができるよう親子で話し合ってもらいたい。 ②No.10について、伊倉っ子シンポジウムで視力を低下させないための具体的な数値を示されたことで児童にもよく伝わったと思う。SNSとの付き合い方は注意が必要だと親子で実感している。 ③No.10について、体力の低下にはメディアが大きく関係していると思う。まずはそこからの対策をとることからシンポジウムの開催で親子で考える場を作られたことにより、よい方向に進んでいくと思う。 ④No.11について、登校時は問題ない班が多いが、下校時には幅広く広がっているところも見かける。 ⑤No.12について、子供たちはあいさつがよくできています。地域の方から声をかけたら（あいさつしたら）必ず返してくれます。		
		後期		後期		後期				
12	わたしは、登下校のときなど地域の人にもあいさつをしている。	前期	お子さんは、登下校のときなど地域の人にもあいさつをしていますか。	前期	学校は、教育活動の様子を保護者や地域に発信していますか。	前期	①No.9について、学級園の草、校舎内外のゴミがそのまま放置されている現状がある。進んで善い行いをしている児童を紹介し、全校に広げていく。 ②No.6で、右側通行を意識する児童が増えた。時と場所を考えて、無言で通ることを意識させたい。今年度の数値は他の項目に比べると低いが、委員会活動や上級生が廊下歩行を呼び掛けたり、チェックをしたりしたことで以前よりは改善してきている。 ③No.7についてはタマにやんチェック、心のアンケート、帰りの会などでの訴えなど、自分の気持ちを知らせ、共感させる場を今後も有効に活用していきたい。また、自分の気持ちや考えをなかなか言えずに悩んでいる児童への対応も考えていく必要がある。 ④No.8について、子どもどうしが仲が良いことが一番である。何でも話せる仲間づくりに取り組んでいく。その他にも言葉遣いは、学校の課題である。時と場所を考え、礼儀正しい態度の育成を目指していく。	①No.9.10について、夜遅くまでゲーム等をしていると、朝起きができなくなる。朝ご飯を食べるなど規則正しい生活ができるよう親子で話し合ってもらいたい。 ②No.10について、伊倉っ子シンポジウムで視力を低下させないための具体的な数値を示されたことで児童にもよく伝わったと思う。SNSとの付き合い方は注意が必要だと親子で実感している。 ③No.10について、体力の低下にはメディアが大きく関係していると思う。まずはそこからの対策をとることからシンポジウムの開催で親子で考える場を作られたことにより、よい方向に進んでいくと思う。 ④No.11について、登校時は問題ない班が多いが、下校時には幅広く広がっているところも見かける。 ⑤No.12について、子供たちはあいさつがよくできています。地域の方から声をかけたら（あいさつしたら）必ず返してくれます。		
		後期		後期		後期				
地域とともにある学校	13		前期	学校は、教育活動の様子を保護者や地域に発信していますか。	前期	学校は、教育活動の様子を保護者や地域に発信していますか。	前期	①No.14について、教職員の評価が低くなっている。学校便りや学級通信等で発信しているが、今後も発信の頻度を上げる必要がある。 ②No.15は、高くなっている。地域学校協働活動推進員と連携しながら、授業や行事等で地域人材の活用を図ることができたからと考えられる。年間計画をしっかり作成するとさらなる活用につながる。 ③No.16は、高くなっている。妹尾先生の研修の成果だと考える。	①No.15について、ふれあいセンターでのイベントで書道や絵の先生など、教職員以外の方々とふれあいで子供たちは様々なことを学び、成長できていると思う。 ②No.15について、伊倉にはお宮の創建以来1300年の長い歴史がある。伊倉っ子のアイデンティティを育むには豊富な地域学習の教材がある。熱い郷土愛をもった伊倉っ子が育ち、伊倉の未来を支えてほしい。	
			後期		後期		後期			
	14		前期	学校は人権教育や特別支援教育などについて保護者や地域に情報提供していますか。	前期	学校は人権教育や特別支援教育などについて保護者や地域に情報提供していますか。	前期	①No.14について、教職員の評価が低くなっている。学校便りや学級通信等で発信しているが、今後も発信の頻度を上げる必要がある。 ②No.15は、高くなっている。地域学校協働活動推進員と連携しながら、授業や行事等で地域人材の活用を図ることができたからと考えられる。年間計画をしっかり作成するとさらなる活用につながる。 ③No.16は、高くなっている。妹尾先生の研修の成果だと考える。	①No.15について、ふれあいセンターでのイベントで書道や絵の先生など、教職員以外の方々とふれあいで子供たちは様々なことを学び、成長できていると思う。 ②No.15について、伊倉にはお宮の創建以来1300年の長い歴史がある。伊倉っ子のアイデンティティを育むには豊富な地域学習の教材がある。熱い郷土愛をもった伊倉っ子が育ち、伊倉の未来を支えてほしい。	
			後期		後期		後期			
15	わたしは、家族や地域の方など学校の先生以外の大人の方と一緒に活動することがある。	前期	学校は多様な地域人材や教育資源を活用して教育活動を進めていますか。	前期	学校は多様な地域人材や教育資源を活用して教育活動を進めていますか。	前期	①No.14について、教職員の評価が低くなっている。学校便りや学級通信等で発信しているが、今後も発信の頻度を上げる必要がある。 ②No.15は、高くなっている。地域学校協働活動推進員と連携しながら、授業や行事等で地域人材の活用を図ることができたからと考えられる。年間計画をしっかり作成するとさらなる活用につながる。 ③No.16は、高くなっている。妹尾先生の研修の成果だと考える。	①No.15について、ふれあいセンターでのイベントで書道や絵の先生など、教職員以外の方々とふれあいで子供たちは様々なことを学び、成長できていると思う。 ②No.15について、伊倉にはお宮の創建以来1300年の長い歴史がある。伊倉っ子のアイデンティティを育むには豊富な地域学習の教材がある。熱い郷土愛をもった伊倉っ子が育ち、伊倉の未来を支えてほしい。		
		後期		後期		後期				
16		前期	学校は働き方改革を進めるために地域人材の活用などに取り組んでいますか。	前期	学校は働き方改革を進めるために地域人材の活用などに取り組んでいますか。	前期	①No.14について、教職員の評価が低くなっている。学校便りや学級通信等で発信しているが、今後も発信の頻度を上げる必要がある。 ②No.15は、高くなっている。地域学校協働活動推進員と連携しながら、授業や行事等で地域人材の活用を図ることができたからと考えられる。年間計画をしっかり作成するとさらなる活用につながる。 ③No.16は、高くなっている。妹尾先生の研修の成果だと考える。	①No.15について、ふれあいセンターでのイベントで書道や絵の先生など、教職員以外の方々とふれあいで子供たちは様々なことを学び、成長できていると思う。 ②No.15について、伊倉にはお宮の創建以来1300年の長い歴史がある。伊倉っ子のアイデンティティを育むには豊富な地域学習の教材がある。熱い郷土愛をもった伊倉っ子が育ち、伊倉の未来を支えてほしい。		
		後期		後期		後期				